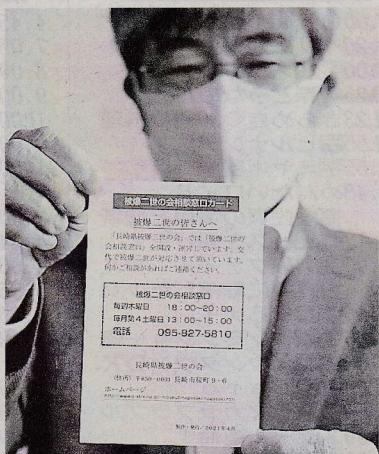


県被爆二世の会

相談先カード配布

健康記録簿発行に合わせ

県被爆二世の会が6月1日から配布する「相談窓口カード」
＝長崎市内

被爆二世が健康状態などを書き込む「被爆二世健康記録簿」を、県と長崎市が6月1日から発行を始めるのに合わせ、県被爆二世の会（丸尾育朗会長）は相談窓口の連絡先などを記したカードを配布する。記録簿に収まる大きさ。窓口は同会の被爆二世が電話で対応し、健康不安や援護充実を求める意見などを聞く。

などを2世自身が記入。発行経費は国が負担する。2世健診を受けた人は、希望すれば県内の各市町や県保健所などで受け取れる。

これまで2世健診結果などを記すための公的資料はなく、同会は2000年から代わりに「被爆二世健康管理表」を独自に発行し、相談の連絡先も併記。しかし今回県市が発行する「記録簿」には相談先が書かれていないため、相談事のあ

ド配布を決めた。同会の崎山昇事務局長は「20年以上使われた『管理表』は役割を終えるが、窓口では今後も同じ2世として悩みに寄り添いたい」と話す。
(三代直矢)

記録簿は県と長崎市が発行し、年1回の2世健診結果や既往歴、親の被爆状況